

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】 平成 27 年度

事業所番号	2794600045		
法人名	社会福祉法人 寿光会		
事業所名	グループホーム太寿		
所在地	大阪府柏原市太平寺1-4-30		
自己評価作成日	平成 27年 9月 8日	評価結果市町村受理日	平成 27年 11月 11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.jp/27/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=2794600045-00&PrefCd=27&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 27年 9月 30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人一人の生活スタイルをそのまま受け止め、その人らしく安心した暮らしができるようスタッフ皆が個人の出来る機能を活かしながら提供をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長年地域に貢献してきた社会福祉法人が地域密着型高齢者施設の一つとして設立し、運営している1ユニットのグループホームです。ホームは3階建て1階にあり、特養とショートステイを併設しています。専用の玄関があり、共有空間や居室には最新の設備を導入して生活環境を整えています。屋上には花壇や菜園を造り、イスやテーブルを置いて四季折々の景色を楽しめるようにするなど利用者の憩いの場として整備しています。地域とのつながりを基本とした運営を進め、地域ボランティアの協力を得た利用者支援をしています。職員は「鍵をかけないケア」を実践して、利用者が自由でのびのび暮らせるように配慮しています。利用者は家庭的な雰囲気の中で一人ひとりが役割を持って楽しみながら穏やかに過ごしています。食事は3食とも手作りで、職員は利用者と相談しながら献立を作り、食材は新鮮な野菜や魚・肉を豊富に使って利用者に喜ばれています。地域自治会の協力があり、行政との連携も良く、法人のバックアップもあることから、今後もさらにサービス向上が期待できるホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員が目につく場所に理念を掲げ毎日朝礼時に唱和共有し実施している	「周りの人の幸せを願うところに自らの幸せがある」を理念としています。理念は「入居者のそれぞれの生活スタイルが尊重され、主体的にその人らしく、こころ穏やかに暮らせる場の創造を目指します」として、ケア目標に掲げ具体化しています。職員は利用者が住みなれた思い出のある地域で、その人らしく心豊かな生活が営めるように笑顔でサポートしています。理念はホーム玄関等に掲示して共有し、毎朝職員間で唱和し実践しています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域ボランティア団体、レクリエーション団体や学生ボランティアによるレクなど、様々なかたがたとの交流。また施設内での行事にも地域の方々が集ってくれています。年数回ですがコンビニ（セブンイレブン）での販売もあります	地域の祭りではだんじりの休憩所としても施設が活用され、利用者も出迎えて楽しんでいます。地域交流では河内音頭を楽しんだり、学生ボランティアとレクリエーションをしたり、和太鼓、大正琴、三味線、ハーモニカ、カラオケ、張り絵、ちぎり絵、ドッグセラピー等々、地域ボランティアの協力を得た利用者支援を進めています。管理者が近隣住民と対話する中で協力関係が進み、ホームの防災避難訓練に住民が参加されるなど、新たな連携も進みつつあります。ホームは地域密着型高齢者施設内部に設立され、当初から地域とのつながりを重視した運営を進めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	1 年 4 回広報誌を作成発行している。施設内の様子などを知って頂き認知症への理解も深めて頂いてます		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催しています 市の担当者、ご家族に参加して頂き情報の共有、交換をしています	運営推進会議は規程を定め、2カ月に1回、年6回の定期開催をしています。 会議メンバーには、利用者・家族、地域住民代表、地域包括支援センター職員、市職員、市社協地区担当職員等が参加しています。最近の会議では、利用者の室温調整について、地域連携について、アニマルセラピーについて、レストランでの外食と食後の足湯について、屋外喫茶について等が話題となり、意見交換しています。会議で出された意見や助言については速やかにホーム運営に活かしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会を通して情報共有をしています	管理者は何かあれば市の担当課に連絡して相談し、情報交換等をしています。また、必要があれば担当課に出向き、報告書等の提出を行い、利用者状況等を細やかに報告しています。 地域密着型高齢者施設の一つとして開設した経過もあり、当初から市の担当課と連携しながら運営を進めています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全てに関して拘束はしていません。 玄関も開放されているので、 常に見守り実施出来る限り自由に 行動してもらってます	運営規程や重要事項に身体拘束防止 や虐待防止について明記し、身体拘束 をしないケアに法人全体で取り組んで います。これまでに身体拘束の事例は ありません。職員は研修や日々のミー ティング等で、利用者の人権や尊厳を 守るケアについて確認しています。玄 関や居室からは自由に出入りが出来、 職員はさり気なく見守りを行っていま す。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	個人、個人の状態状況を 職員に周知(話しあい)し 言葉使いも含めてケアしています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、 成年後見人を利用していませんが、 会議などで知っておく知識として 学んでいます		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	その都度 口頭でお話しています 曖昧な表現をするのではなく十分な納得のいく説明をしています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、ご家族の要望は 真摯に受け止めるようにしています 職員とはミーティングを通して 良い方向へすすめるようにしています	家族が来訪されたら職員から挨拶をして意見や要望を聞くようにしています。また、電話での連絡時にも用件だけでなく、意見や要望について確認し、職員間で共有し対応しています。玄関に備えつけた大きなポスト型の意見箱は毎日確認をして、意見等の投書があれば速やかにホーム運営に活かしています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員、一人一人の意見や提案をその都度聞くように努力しています。また、月一回フロアミーティングを実施しているので意見交換をし実践に努めています 連絡ノートも作り情報共有もしています	管理者は日常的に職員の意見を聞き、ホーム運営に活かしています。さらに、月1回の職員会議や週1回のミーティング、毎朝の朝礼等で出された意見や提案については、上層部とも相談して運営に活かしています。職員の定着率が高いことから、職員の意見が反映され、働きやすい環境づくりが進んでいることが理解できます。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	モチベーションを保つ為にも職員一人一人とコミュニケーションを図りストレスのない環境整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コミュニケーションを図り一人一人の状態を把握し個々に合わせながらトレーニングしています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	柏原市地域密着型サービス事業所連絡会に参加して他事業所の情報や行事、取り組みを決めて実行しています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご自宅での生活環境など 面会を通してコミュニケーションを図り情報を得て、ご本人の要望に応えていく		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホームに見学に来てもらい 出来る限りの要望に応え不安時には傾聴し安心安全に生活が出来るように 情報共有を図り信頼関係を保つ		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ご本人が何を求めているか？ 今、必要なものは何か？ など、把握する為に傾聴し話し合い 安心してサービスを提供する		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場 におかず、暮らしを共にする者同士の関 係を築いている	互いに信頼関係をしっかり 成り立つように平等、公平に コミュニケーションを図りながら 築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場 におかず、本人と家族の絆を大切にし ながら、共に本人を支えていく関係を築 いている	ご家族、ご本人の 良い関係が続くように互いの意向に 耳を傾け、ご家族にも必要な協力を して頂いてます		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来られたときは落ち着いて話が出来るように職員は遠くより見守っています	職員は利用者の元同僚や地域に暮らす友人等が来訪された場合にはゆっくり話ができるように接待して、利用者が楽しく過ごせるように支援しています。職員は利用者がかかりつけ医を定期的に受診する際や、墓参り・法事等に出かける際には、家族との連絡調整を行い外出の準備をするなど、馴染みの関係を大切にしたい支援をしています。希望があれば電話をかける支援を行い、郵便物についても希望に副って対応しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個人の個性など把握しながら良好な関係が保つように出来ることは何でも(その人に合ったもの)してもらい、会話にもつなげています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されたらお見舞いにも伺いご家族から連絡があった場合でも相談事のアドバイスをさせてもらってます		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個人個人の思いや希望、要望 意思などは様々なのでそれぞれに把握しながら良い方向へと進めていく努力をしています	職員は利用者の好みや意向をその都度確認しながら支援を進めています。言葉で表現がしにくい場合には、しぐさやそぶりで確認したり、好みのものを選んでもらったりしています。近くのコンビニに依頼して、菓子等を出張販売してもらい、利用者が好みの物を選んで、自分でお金を支払い購入できるように支援しています。利用者一人ひとりに担当者を決め、利用者の思いや意向を確認して24時間シートを作成し支援に活かしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	それぞれの生活スタイルが違うため しっかり情報収集をし必要に応じてサービスを実施している		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各個室の為、好きな時間に好きな事をしてもらっています。何がしたいのか聞きながら支援していくようにしています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の変化でサービスも変わってくるのでその都度、ケアマネと連携して本人の気持ちを聞き家族さんスタッフとも話し合い計画を変更しています	介護計画書は、6ヶ月毎に作成しています。家族からの希望や要望は来所時に確認し、利用者については日常の気づきや会話から把握しています。介護計画書は24時間シートを基に作成し、1か月毎にモニタリングを行い、次の計画に反映しています。職員はフロア会議で意見を交換し、情報を共有しています。利用者の状態や内容に変化のあった場合は、その都度見直しを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、記録を書き連絡ノートで小さな変化も連携し情報を共有する。 職員やご家族の意見や提案を通して介護計画の見直しに活かしています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の状況に応じて 臨機応変に対応しサービス、対応も変えています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	けん玉、歌、踊り等の 地域レクボランティアさんや 学生ボランティアさんに来苑してもらい 入所者さんに楽しんでもらってます。 普段では見せない表情を見ることが出来ます		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週 3 回は連携医師の回診があります。 他にも本人や家族の希望で 在宅時の主治医を変更されてない 入所者さんは他医院を家族さん 同行で受診されて適切な医療を受けられています	利用者・家族の希望に副った医療機関で受診できるように支援しています。受診については、家族の同行が原則ですが、急な状況の変化がある場合にはホーム職員が付き添い支援をすることもあります。専門医受診や緊急時の対応等についても、利用者・家族の意向を尊重し、適切な医療が受けられるようにしています。ホームでは提携医師の往診が週 3 回設定されており、利用者家族の希望があれば連携医師の診察を受けることができます。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の情報の共有を行い状態に変化等があった場合すみやかに報告し処置や指示を仰いでます。 必要に応じて家族に連絡、協力頂いてます		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された時は、施設内の生活の様子を看護師に用紙で情報提供しています 退院時にも看護サマリーで連携を取り生活の注意点など情報も交換しています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所説明に自宅に伺ったときに事業所で出来ることは説明しています。 入所者さんの状態などその都度家族さんには報告して相談して看護師、いしとも相談して対応しています	ホーム入居時に「終末期支援についてはできるだけ希望に副った支援を行う」方針であることを利用者・家族に説明し意向確認をしています。現在までに看取り支援を行った経験はありませんが、今後も利用者家族の意向に副った支援を進める予定です。重度化した場合の対応については医師、看護師、家族と相談しながら、ホームで出来る限りの支援を行っています。	ホームでは利用者の生活状況を家族にその都度詳細に報告することで、常に家族と情報を共有し、利用者が重度化した場合の対応については迅速な判断と対応ができるよう家族との連携をさらに深める予定にしています。今後、取り組みの成果が期待されます。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練とは行かないが 事故発生時の対応や 入院時の用意するもの 医療情報シートなどがある 緊急時連絡網のファイルの場所の確認はスタッフ全員が把握している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設全体では年 1 回 グループホームでは年 1 回 夜勤帯時の想定でしています。 施設の近所の方にも声かけして 協力してもらっています	災害時の訓練マニュアルを作成し、年に2回避難訓練を行っています。そのうち 1 回の総合訓練には、消防署から出向いての指導、協力体制があります。訓練には職員の声かけで、新たに近隣住民の参加があり、今後も地域の協力と関係を広めていく予定です。夜間想定訓練には、職員全員が経験出来るよう、勤務表等で配慮しています。非常持ち出し品は、利用者一人ひとりのリュックに入れ、水と共にすぐ持ち出し出来るようホームの出入りに置いています。水や食料品、生活用品の備蓄をしていますが、数量が十分とは言えない状況です。	備蓄リストを作成し、備蓄の数量等を整備すると同時に、消費期限や保管期間についてもわかりやすく表示してはいたがでしょうか。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	慣れてくるに従い、敬語を崩して話しをする機会が多くなりますが人格を守るためにも苗字で呼ぶようにしています。 管理者も気配りして気がつけばその都度注意しています	利用者一人ひとりを大切にしたい支援をしています。言葉使いや接し方については丁寧に、笑顔で接するよう心がけています。管理者と職員は利用者との関係が親しくなっても、人生の先輩として適切な対応をするよう配慮しています。個人記録等については鍵のかかる場所に保管し、個人情報についての取り扱いは、秘密保持を義務として職員雇用時に雇用契約を交わしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	統一したサービスではなくて個々のサービスなので本人さんの意思もきっちり聞かせ貰い自己決定して貰ってます。 自己決定できない方にはスタッフ、家族の意見を聞き本人さんに一番良い方法を考えてます		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の起床もゆっくり寝たい方、早起きしたい方など、それぞれの希望を聞き対応しています。 食事以外の時間も居室に戻りたい方など本人さんの希望の過ごし方をしてもらってます		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人さんと入浴の用意をしたり 外出には着替えをしてもらったり 支援しています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを決めるときも、 入所者に相談して食べたい物を 聞いたり、食事の準備、調理も スタッフと一緒にして食器洗いも 手伝ってもらってます	食事は手作りで、3食ともホームで職員が利用者と共に作っています。職員は利用者と相談しながら献立を作成しています。おやつ等一部食材の買物には利用者と共に出かけていますが、新鮮な野菜や肉、魚介類等については近くのスーパーから搬入してもらうようにしています。手造りの食事は好評で、利用者は味付けやご飯の炊き加減等についても意見を出したりしています。時にはお弁当を取り寄せたり、みんなで外食に出かけてお寿司等を楽しんだりしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給表を作成して 一日の量がスタッフ全員で 把握できるようにしている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時や就寝時にはもちろん食後も歯磨きやうがいができるように支援しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿の失敗が多くなればスタッフと連携して排泄の声かけしたりしています。 トイレの失敗もなくなってくるとスタッフで相談してオムツを止めてみたりしてオムツを減らすように工夫しています	自室にトイレが設置されていることもあり、ほとんどの利用者が自室で排泄支援を受けています。職員は利用者の排泄状況を記録で共有し、時間を見て声かけをしたり、トイレに誘導したりしています。職員は自立支援を心がけ、できるだけオムツ類に頼らない支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の食材を使うメニューを取り入れたり体を動かす機会、散歩の機会を作ってます 排泄表でつけて便秘にならないように医務と連携し下剤の処方もしています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴時には本人さんの意向を聞き午後が良い方には午後から入浴してもらいます お風呂が好きで毎日入りたい方には家族と相談して本人さんの体調負担を考えて隔日にするなどその人にあった支援をしています	入浴は週2～3回を基本にしています。本人の体調や希望に応じ柔軟に対応しています。入浴出来なかった利用者には、足浴や清拭、着替えを行っています。入浴を好まない利用者には、声掛けの工夫を行い、気分転換のために、近くを散歩する等利用者の気持ちに添った対応をしていますが、一部に入浴回数が少ない状況も見られます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入所者さんの夜間の睡眠状態、身体状態、生活習慣を観察して午前、午後に休息をとれるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入所者さんが飲まれているお薬リストのファイルを作りスタッフ全員が自由に見れる環境を作ってます 服薬チェックをして誰が担当したのかも記入しています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各個人の楽しみなこと、得意なことを、勧めたり支援しています 生活面でも気分転換できる機会を提供し食事時など嗜好品など入所者さんと一緒に買いに行くときもあります		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年 2 回の遠足に出かけて外食や気分転換を支援しています。 施設の屋上への散歩や買い物にも参加してもらいます。	買物や散歩、ドライブなど利用者の希望に副って外出支援をしています。年間行事では花見や遠足、外食等、みんなで外出をして楽しんでいます。日頃は行けない場所や墓参りにも行けるように職員が家族の協力を得て調整し実現しています。外出記録は項目を設けて分かりやすく記載しています。一部、季節によっては外出記録が少ない状況も見られます。	外出の少ない時期にはみんなで出かける工夫をしてはいかがでしょうか。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	訪問販売時の際には自分自身でお金を所持して好きな品物を購入しています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人さんの希望に沿って自宅に電話し本人あてにきた年賀状等は手渡しています		
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロア内のキッチンも開放的な作りになっている為、入居者さんと共に調理したりしています。 浴室やトイレはプライバシーを守る為に引き戸で区切られています。 エアコン調節などはスタッフが気をつけてしています。植木や花、季節の行事なども取り入れ工夫しています	ホームは地域密着型高齢者施設3階建ての1階にあり、専用の玄関を設置しています。居間や食堂は明るく円卓は6面にして、座りやすく工夫しています。居間にはテレビを囲むようにソファを置いて、雑誌や新聞等を置いてくつろげるように工夫しています。浴室は家庭的で浴層に出這入りしやすい介助イスも準備しています。また法人管理の特殊浴層もあり必要に応じて活用できるよう調整しています。共有トイレは広く、車イス対応になっています。屋上には花壇や菜園を整備し、イスやテーブルを置いて四季折々の景色を楽しみ、打ち上げ花火を観賞するなど、利用者の憩いの場として活用しています。	職員は居心地のよい共有空間づくりの一環として、利用者一人ひとりが和やかに和気あいあいと過ごせる環境作りに取り組んでいます。今後は利用者間の会話が弾むように、職員が会話を盛り上げるよう取り組む予定にしています。今後、取り組みの成果が期待されます。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	プライバシーを守るように自由に引き戸を閉めて居室で過ごされる人やロビーのソファで他入所さんとテレビを見て過ごされたり お好きな居場所で過ごされています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	在宅時に使用していたタンスやラジオ、布団も持って来られている人もいて家族と相談して本人さんが落ち着く居場所を作るようにしています	利用者は居室に使い慣れた家具や調度品、テレビ、冷蔵庫、時計、絵画、写真、お茶道具等々を配置して居心地よく過ごせるようにしています。室内にはトイレ、洗面台が設置され、利用者は花を飾り、化粧道具や電動髭剃り器等を置いて使いやすく工夫しています。ベランダに通じる窓には障子を取り付けられ、明るく清潔感があります。職員は利用者の気持ちを大切にしながら整理整頓にも配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室にトイレ、洗面台が配置しています センサーライトの為、安心安全に動いてもらえます		